

**コンゴ(民)経済情勢  
月例報告  
2016年10月**

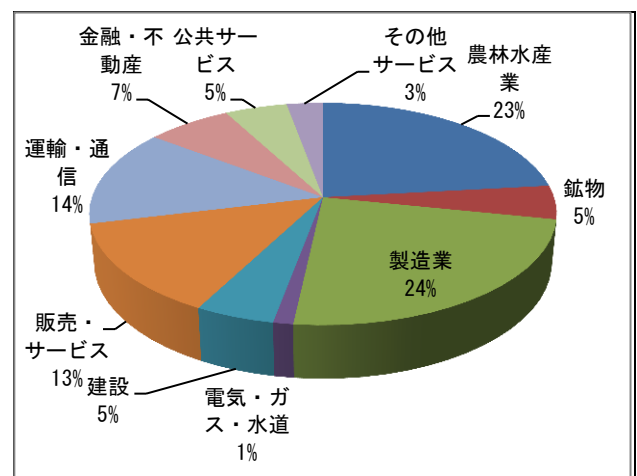
**主な出来事**

- 18日に催された金融政策委員会において、預金準備率の引き上げが発表された。ドル建て預金準備率に関し、当座預金は10%から13%へ、定期預金は9%から12%へそれぞれ引き上げられた。なおインフレ率は5%を越えた。
- 25日、マタタ首相は2017年度予算案を国民議会に提出した。総額47億ドルと前年比15.3%減である。大統領選挙用予算を一番の優先事項としている。
- シャブンダのウリンディ川における中国企業の違法な金採掘に関わっていたとして、南キヴ州政府の3人の公務員が逮捕された。許可証なしに操業させていたことに加え、産地を偽造し、国際市場に流通させた疑いがある。

	主なマクロ経済指標	2015年	2016年10月
1	人口(百万人)	74.88	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質GDP(百万ドル)	22,947.33	-
4	名目GDP(百万ドル)	37,393.23	-
5	一人当たりGDP(ドル)	524.16	-
6	GDP成長率(%)	7.7	-
7	インフレ率(%)	1.37	5.439%(2016年目標4.2%)
8	貿易収支(百万ドル)	550.89	-
9	輸出(百万ドル)	10,325.28	-
10	輸入(百万ドル)	9,774.54	-
11	対外直接投資(百万ドル)	498.13	-
12	対内直接投資(百万ドル)	918.00	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,405.06	932.33 (輸入4.11週間分)
14	対外債務残高(百万ドル)	NA	-
15	為替レート(対ドル)	925.99	1095.73
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	7.00

(2015年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2014年))

GDPセクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

## **経済**

### **1. 市場（鉱物・資源関係）**

#### **（1）タンザニアとの石油開発：タンガニーカ湖**

カビラ大統領は3日から5日にかけてタンザニアを訪問し、タンガニーカ湖のタンザニアとの共同石油開発に係る協定に署名した。カビラ大統領はこの他、ダル・エス・サラーム港のコンゴ（民）用貨物の取り扱いなどについて話し合った。（5日付け Mediacongo など）

#### **（2）中国企業の違法金採掘に係る当局関係者の逮捕：南キヴ州**

シャブンダのウリンディ川における中国企業の違法な金採掘に関わっていたとして、南キヴ州政府の3人の公務員が逮捕された。逮捕されたのは州鉱山省の前大臣、鉱山局長、州鉱山省付け技術機関（SAESCAM）長の3人である。許可証なしに違法な金採掘をさせていたこと及び、書類を偽造しシャブンダでの生産であることを隠したまま国際市場に流通させた疑いがある。（5日付け Le Potentiel）

#### **（3）グリーンピース・アフリカ：中国企業への森林開発許可証の取り消しを評価**

国際環境団体であるグリーンピース・アフリカは、政府が2015年に中国企業に違法に割り当てていた森林開発許可証を無効にすると発表した政府の取り組みを評価すると同時に、違法な形での森林開発許可証の発行に携わった関係者の処罰を求めた。ボポロ環境大臣によると、政府は2015年当時、鉱物資源セクター不況の影響を受け国庫が減少し続けるなか、森林開発許可証の再販を開始する予定であり、右を見越して中国企業に許可証を発行した。（14日付けACPなど）

### **2. 市場（インフラ・農業・投資・金融など）**

#### **（1）コーヒー生産：北キヴ州**

北キヴ州の年間コーヒー生産が、2011年より5年間で、800トンから3,400トンへと4倍に増加した。コンゴ産のコーヒーは現在ヨーロッパやアメリカへ輸出されている。（2日付け Radio Okapi）

#### **（2）セメント価格の下落：キンシャサ**

アンゴラからの安価なセメントの流入により、この一週間で市場のセメント価格が一袋（50kg）16,000FCFから10,000FCFへと下落した。コンゴ中央州においても同様の現象が見られており、13,500FCFから9,500FCFへと下落している。（4日付けACP）

### **(3) 鉄道：キサングニーウブンドゥ**

マタタ首相は4日、キサングニーウブンドゥ間の計125kmにおよぶ鉄道の再開式に出席した。当鉄道では4つの機関車が国庫により配備され、300トンの貨物輸送能力を持つ。チョボ州、オー＝カタンガ州、マニエマ州の貨物輸送を促進する。(4日付け primature など)

## **3. 財政・マクロ経済・行政など**

### **(1) 米ヘッジファンドオク＝ジフ社：要人への賄賂提供**

米ヘッジファンドのオク＝ジフは、アフリカ各国において、現地の要人に多額の賄賂を提供していたとして、連邦海外腐敗行為防止法に基づき、4億1,300万ドルの罰金を課された。コンゴ(民)での事案に対し、連邦腐敗行為防止法が適用されたのは初めてのケースである。賄賂提供は主に鉱山契約に基づくものであり、カビラ大統領および懇意のイスラエル人実業家ダン・ゲルトラー氏、さらには故カトゥンバ大統領顧問などに対し1億ドル以上が渡っていたとされている。(9月29日付け Jeune Afrique)

### **(2) 金融政策委員会：預金準備率の引き上げ**

18日に催された金融政策委員会において、預金準備率の引き上げが発表された。ドル建て預金準備率に関し、当座預金を10%から13%へ、定期預金を9%から12%へそれぞれ引き上げた。内貨建て預金準備率に変更はない。なお、インフレ率は5%を越え、4.2%としていたインフレターゲットの数値を超えた。(19日付けACPなど)

### **(3) 2017年度予算案：前年度比15.3%減**

25日、マタタ首相は2017年度予算案を国民議会に提出した。総額47億ドルと前年比15.3%減である。マタタ首相は2017年予算に関し、大統領選挙の実施が一番の優先事項であると述べた。(26日付け Avenir など)

### **(4) トロイカ戦略会合の要旨**

24日に催された、首相以下、予算大臣(国務大臣兼任)、国家経済大臣、財務大臣、中央銀行(BCC)総裁等が出席するトロイカ戦略会合の主な内容は以下のとおり。

#### インフレ率

2016年度目標4.2%に対し5.439%

#### 対ドル為替市場(20日付け)

銀行間レート1,095.73コンゴ・フラン、市中レート1,198.70コンゴ・フ

ラン

#### 外貨準備高

9億3,233万ドル、輸入額の4.11週間分

#### 政策金利

2%から7%へ変更

#### 国庫残高（21日付）

月間 869.51億コンゴ・フランの赤字

年間3968.81億コンゴ・フランの赤字

### 4. 対外関係・その他

#### **(1) コレラワクチンキャンペーン：保健省**

コレラのワクチンキャンペーンが29日より始まった。第1フレーズは4日までを予定しており、第2フレーズは19日から23日の予定で実施される。(2日付けACPなど)

#### **(2) ガバナンス指数：イブラヒム財団**

3日に発表されたイブラヒム財団によるアフリカガバナンス指数によると、コンゴ(民)の10年間におけるガバナンス改善度は54ヶ国中46位であった。(4日付けRadio Okapiなど)

#### **(3) Doing Business：世銀**

世銀はDoing Businessの2017年報告書を発表した。コンゴ(民)は190ヶ国中184位と前年から変化なしである。(26日付けmediacongoなど)

### 5. 対日経済・開発協力関係

#### **(1) 草の根無償資金協力：「アマテ区ボー＝ピエール保健センター付属産院建設計画」「ンジリ区ムアビ複合学校付属幼稚園拡張計画」**

25日、「アマテ区ボー＝ピエール保健センター付属産院建設計画」および「ンジリ区ムアビ複合学校付属幼稚園拡張計画」に対する、草の根無償資金協力の署名式が日本大使館で執り行われた。前者が8万3千万ドル、後者が7万ドルの事業である。ボー＝ピエール保健センター代表のムルアカ氏は日本での留学経験を持ち、ムビア複合学校附属幼稚園のムアビ代表は国会議員として初等教育の推進に力を注いでいる。(26日付けLe Potentielなど)

**(2) 草の根無償資金協力：NPA（ノルウェージアン・ピープルズ・エイド）**

31日、日本大使館にて地雷対策NGOであるNPAに対する草の根無償資金協力に係る署名が交わされた。NPAは58万ドルの資金提供を受け、南北ウバンギ州における地雷除去活動に従事する。（11月1日付けLe Phareなど）

**(3) 草の根無償資金協力：モン＝ンガフラ区小学校建設**

日本の草の根無償資金協力により建設された小学校の竣工式が執り行われ、在コンゴ（民）日本大使が出席した。当事業は日本から8万8千ドルの支援を受けたNGOのAPROFEDにより実施され、モン＝ンガフラ区のプラトー1地区の300人の子どもが教育を享受できるようになる。（11月1日付けACPなど）